学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	(学) 日本語コミュニケーション演習	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、日本文化を通して日本語や母文化を学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
日本社会で生きていくために日本文化を学び、母文化についてもより深く学びなおします。
予習復習があるときは、必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
高校卒業後に必要な表現や語彙力をのばし、社会に出てからも日本語を通してコミュニケーションをとることができる。ある程度まとまったスピーチができる。
【思考力、判断力、表現力等】
現在の社会で起きている問題や各国が抱える問題について、根拠を示しながら考え、自分の意見を発表することができる。また、クラスメイトの意見を聞き、それに対する感想を述べることができる。言語を問わず、情報に対する自分の考えや意見をまとめて相互理解を図ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
日本語が持つ特有の表現などを母語継承語と比較しながら認識を深めるとともに、言葉を通して他者や学校生活にかかわろうとする態度を養う。より実践的な日本語でのコミュニケーション力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・高校卒業後に必要な表現や語彙力をのばし、社会に出てからも日本語を通しコミュニケーションをとることができる。 ・ある程度まとまったスピーチができる。	・現在の社会で起きている問題や各国が抱える問題について、根拠を示しながら考え、自分の意見を発表することができる。また、クラスメイトの意見を聞き、それに対する感想を述べることができる。 ・言語を問わず、情報に対する自分の考えや意見をまとめて相互理解を図ることができる。	・日本語が持つ特有の表現などを母語継承語と比較しながら認識を深めるとともに、言葉を通して他者や学校生活にかかわろうとする態度を養う。 ・より実践的な日本語でのコミュニケーション力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	様々な学校	・興味関心のある大学、専門学校等について調べ、情報を収集する	a:進学候補先の情報が理解できる b:大学、専門学校等それぞれの特徴を捉えることができる c:自身の進路を考えながら取り組んでいる	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・発問 ・観察 ・感想文
	自己と向き合う	・自らの人生を振り返り、自分の強みや弱み等について向き合う	a:自己 PR に必要な情報を理解できる b:自らを表現する方法を考えまとめている c:自分と向き合い、自己を表現しようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文
後半	面接マスター	・面接試験の際に必要な知識や技能について身につける	a:面接に必要な知識を理解している b:質問されたことに対して、的確に伝えることができる c:自身の価値観を認め、他者との関わりを考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・記述の点検 ・作文 ・スピーチ	・観察 ・感想文 ・スピーチ
	グループディスカッション	・様々なジャンルの文章や動画教材に触れ、それらのトピックについてディスカッションを行い、意見をまとめる	a:各トピックを理解するために必要な知識を有する b:教材から読みとった内容を日本語で他者に伝えることができる c:どんなトピックにも関心をもって考えようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・発問 ・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度